

福島県立郡山北工業高等学校



同窓会報

平成20年2月27日
第58号

2008

発行所 / 〒963-8052
福島県郡山市八山田二丁目224番
福島県立郡山北工業高等学校同窓会
☎ 024(932)1199
FAX 024(935)9849

発行者 / 増子 久治
編集者 / 田母神三知夫
発行部数 / 18,000部

校歌

安西金造 作詞
岩井直博 作曲

一、明け初むる 安積の沃野に

今 時どり 雄音高く

朝日に輝く 自らの母校

これぞ

郡山北工業高等学校

おお 調和の旗のもと

我等 健児

ここに 朝日に 集いけり

二、暮れなずむ 飯豊の星を

低く見おろし 理想も遙か

八山田が丘 そびゆる学舎

これぞ

郡山北工業高等学校

ああ 創造の意気高し

我等 駿馬

永遠に 未来に 駆け行かん

三、残雪の 安達太良山に

想いも深く 抜がる都市に

不拔の根を張る 学びの高殿

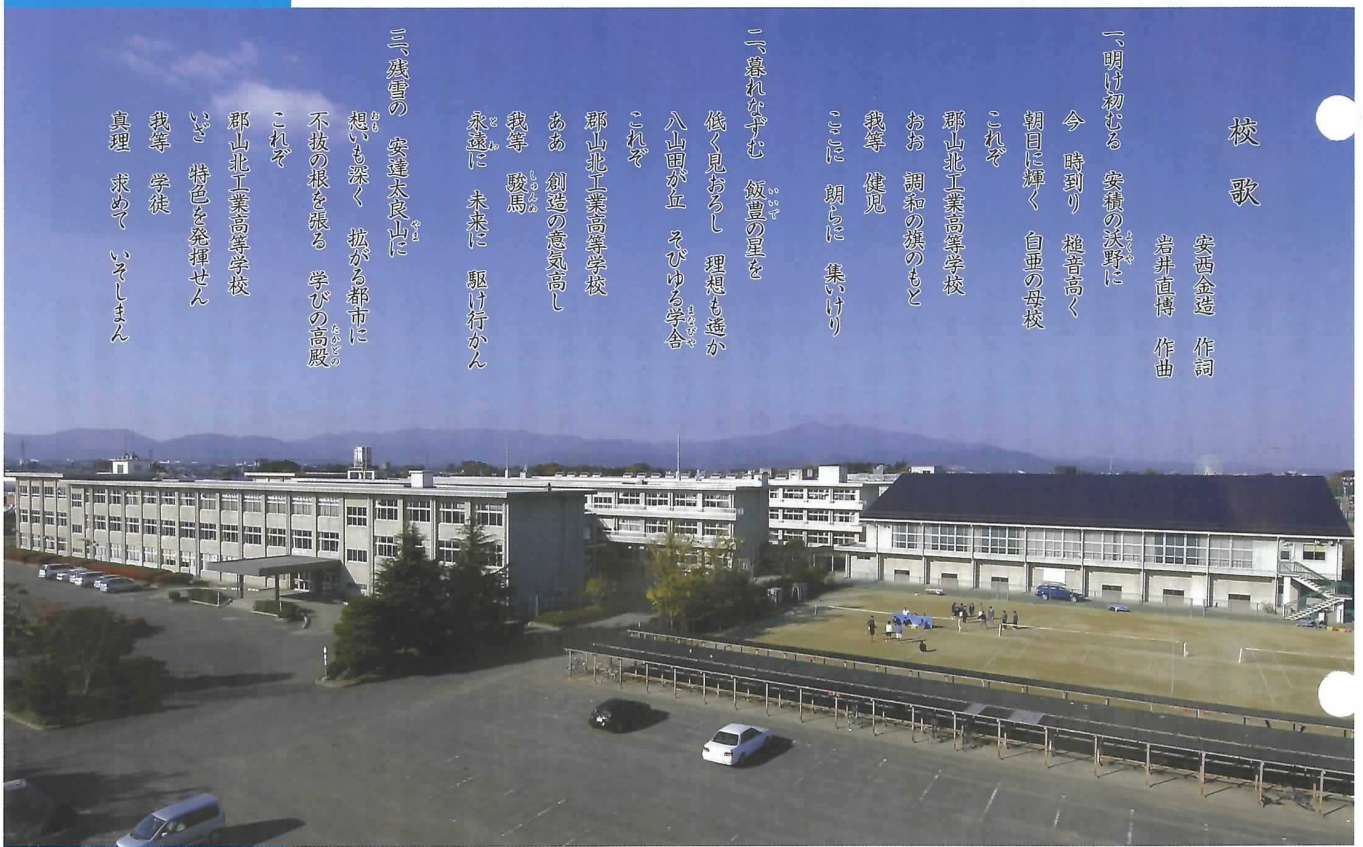
これぞ

郡山北工業高等学校

いと 特色を發揮せん

我等 学徒

真理 求めて いそしまん



郡山北工HP <http://www.koriyamakita-th.fks.ed.jp/>

CONTENTS

会長あいさつ	2
校長あいさつ、新会員のことば	3
平成19年度同窓会定期総会報告	4
支部だより	5~6
特集 第15回全国高等学校ロボット競技大会	7
母校近況	8
(生徒会だより、部活動大会成績報告)	
母校近況(進路状況)	9
平成18年度決算報告・会務報告	10
平成19年度同窓会役員名簿・一般寄付者名	11
第10回北嶺祭	
ゴルフコンペ・事務局だより	12

同窓会定期総会開催のお知らせ

■平成20年度定期総会を下記のように開催いたします。

- 日 時 / 6月21日(土) ●午後5時00分より 総会
●午後5時50分より 懇親会
- 場 所 / ホテル ハマツ 郡山市虎丸町3-18 ☎ 024-935-1111
- 会 費 / 5,000円(平成19年度卒業生は3,000円)

※詳細については同窓会事務局へお問い合わせください。

同窓会事務局(郡山北工内) TEL.(024)932-1199 FAX.(024)935-9849

※参加は会員であれば自由です。同窓生、同級生、会社の同僚等お誘いあわせのうえ多数ご参加下さいませようご案内申し上げます。(参加希望者は、同封された払込取扱票の通信欄の総会会費に○をつけて会費を納入ください。)

一般寄付 趣意書

会報の発送に併せて、郵便払込取扱票を同封させて頂きました。詳しくは会報11ページに記載してありますので、ご覧下さい。尚、一般寄付金は同窓会運営の為に使用しますので、趣旨をご理解の上、何卒ご協力をお願いします。

日立支部総会

- 日 時 / 平成20年6月
- 場 所 / 未定

会長 あいさつ

同窓会会長 増子 久治



同窓会員の皆様には御健勝にて活躍されている事、心よりお慶び申し上げます。また、常日頃より同窓会並びに本校への物心両面にわたり多大なる貢献を頂き誠に有難う御座います。衷心より感謝と御礼を申し上げます。

昨年6月23日の同窓会総会に於いて滝田孝太郎氏より会長を引き継ぎました。昨年度には滝田会長を執行委員長として郡山北工創立30周年式典が盛會に終了する事が出来、これからの滝田会長の益々の活躍に期待をしておりますが、体調不良により暫らくの間、休養したいとの申出があり、役員、幹事の皆様と協議を重ねた結果了承されました。滝田氏には早く健康を取り戻し、再度活躍される事をお祈り申

し上げます。

私としては次の会長へは副会長の何方かに引受けて頂きたいと要請しましたが、各副会長とも各種事情に依り固辞されました。そこで総会直前の幹事会に諮り、その結果私が指名されました。再登板であります。次の会長を選任する迄、会員の皆様にはご理解を賜り、ご指導ご鞭撻宜しくお願い申し上げます。

さて話を学校の方へ移してみます。環境システム科が今年4月より募集停止と昨年10月福島県教育委員会より発表になりました。この科は平成7年4月、先崎一郎元同窓会長が中心となり当時の世相を反映、建築ラッシュのなか設備等の先駆にと同窓会や地元企業の要望により創設されました。水や空気に関した建築等の専門的技術者養成を目的としており県内では勿論、本校のみの特色ある学科であり、温暖化や異常気象に依る地球

規模での取り組みが叫ばれ、環境問題に多くの皆様が目撃されている最中、同窓会の熱意に反しての突然の発表であり同窓会や役員の皆様にとり憤懣やる方無しの状態であります。

昨年3月10期生40名を送り出し計387名を数え、さらに今年卒業者を加えると420名余りとなり、その皆さんも第一線で活躍されており、成果を信じ楽しみにしている矢先で有り残念で仕方がありません。

大きな学科から1組減なら縮小で済むが、環境システム科を募集停止と言う事は1学年40名定員の学校を廃校とするのと同じです。今後、環境システム科の皆さんには募集停止に臆する事なく奮起していただきたいと考えます。

さらに本校の置かれている立場や工業高校の現況を私の考えで述べてみます。地理的には、福島県の中央に位置し道路は勿論JRを含めた交通網の要所であり、近隣市町村より通学するには便利であります。バスに至っては学校の玄関より発着出来るのは本校以外無いのではないでしょう

か。

県内の他地区では、複数の工業高校があるのに、郡山市内には、我が校のみ、寂しい限りです。県は若者にものづくり教育を推進しており、その様に希望する子供達が多くいるのですから、我々としても県や市等の関係方面への働きかけを今後も推進していく必要があると考えます。

さて、新たに卒業され同窓会員となられた皆様、同窓会を代表し歓迎申し上げます。今日の経済状況は非常に厳しいところですが、この様な中、実社会へ向けて飛び立つ皆様は数多くの困難と遭遇することもあるでしょう。その様な時、本校において学び培った知識と忍耐力を発揮していただきたい。一度や二度の失敗は誰にでもあります。失敗を糧として成長していただきたい。我々同窓会員も各所にて活躍しております。ぜひ声をかけて下さい。皆様の力になることでしょう。

でになりましたが、学校の話題、自分達の近況報告などに盛り上がりました。同じ学校を卒業しただけで同じクラスに学んだ訳では有りませんが年齢も異なります。しかし同窓会員との共通の意識により何でも話せる親近感が芽生え、時の経過を忘れるの不思議です。多分母校愛と在学当時の若き日を懐かしく思い出し、今日流に申すなら癒しの一種ではと考えます。

その席上、日立製作所勤務の会員より昨年に続き本年も郡山北工より採用する旨、話がありました。私の推測では同窓会の皆様よりのお口添えが有った事と考えます。この様に同窓会の皆様の母校に対する情熱を拝見し、自分も会員の一人としてもつと努力しなければとの思いにかられたところでもあります。

終わりに同窓会へ寄金を頂いた皆様に心より御礼と感謝を申し上げます。会員各位の益々の活躍とご健勝を祈念し、6月21日開催の総会に多数出席下さいます様お願い申し上げます。結びと致します。

校長あいさつ

「伝統と禪りレー」

校長 小菅富士雄



平成二十年の新年を迎え、同窓生の皆様方には、日々御健勝にて御活躍のこととお慶び申し上げます。また、本校に対し、常日頃より多くの御支援・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度は、創立三十周年の節目の年として数多くの記念事業を実施し、会員皆様の御支援により成功裏に終えることができました。ここに改めて感謝申し上げます。さて、今年度は、三年に一度の学校祭『北嶺祭』が第十回を迎え、平成十九年十月二十日から二日間、一般公開を致しましたところ、地域の人々は勿論、同窓生・保護者の方々や中学生等々、多くの方が参観されました。短い期間でありましたが本校の活動・特色の一端に触れ、郡山北工業高校に対する理解・関心を深められたこと

と思っております。また、企画・準備から先生・生徒が一体となつて行った北嶺祭は、クラス・科等の結束をより強めることができました。

本校の魅力・特色は、これまで築き上げた同窓生会員の力の結晶であり、在校生が日々学業に、部活動等に打ち込み、それを継承し発展させようと努力している活動こそ、本校の魅力・特色『伝統』だと思っております。

『伝統』は、守り引き継がれて行くのですが、禪りレーと大きく違うことは、その時その時代に培われた校風が、これまでの伝統の上に積み重なり、新たな歴史を創り上げて行くものであると思っております。

良き伝統を持つ郡山北工業高校は、県内工業高校の基幹校として益々重要な役割を持つこととなります。我々職員は、地域社会の将来を担うたくましい青年を育てることに一層力を尽くし、生徒たちも『夢実現』を達成すべく目標を立て、進路実現のために努力しております。

県の重要政策に企業誘致があります。中でも工場誘致には、

多くの『ものづくり』に長けた人材が要求されます。『ものづくり教育』をモットーとする本校においては、地域になくはならぬ卒業生を排出すべく努力しております。日本大学工学部との高大連携事業は、正に、地域に高度な技術者を提供すべき目標のために実施されたものです。しかしながら、本校の意気込みとは裏腹に北嶺祭公開初日に、本校の一学科一学級減が公表されました。このことで同窓会の皆様はじめ多くの方々にご心配をおかけ致しましたことに、改めてお詫び申し上げます。

『少子化の現状を見据え、資質の高い工業高校生を育てるために、』『今』できることは何か。また、やらなくてはならないものは何か。この事を十分に考え、我々教職員は、教育指針を定め、実りある具体的な対策を考じ、実践する所存です。

本校の更なる飛躍のために同窓生の皆様方には、これからも変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げますと共に、新たに巣立つ卒業生への温かい御支援・御指導をお願い申し上げます。最後に、同窓生の皆様の今後益々のご活躍と、御健康に留意される事を御祈念申し上げます。

新会員のことは

建築科 星名 花林



今年、私たちは同窓会員に仲間入りさせていただくことになりました。先輩方が築きあげてきた永き歴史・伝統があるからこそ、私たちが新会員が入会できたのだと思います。

私たちの三年間を振り返ってみると、お世話をしてくださった先生方がいてくれた。支えてくれる仲間がいた。そして、目標とするもの、先輩たちが積み上げてきた歴史や伝統、各諸活動での成績があったからこそ私たちは努力し、目標に向かって心身ともに成長できたのだと思います。私たちは、この三年間さまざまなことを経験してきた中、常に目標になる先輩方がおりました。そんな私たちの今があるのも、先輩方のおかげだと思っております。今の私たちには後輩に誇れることがあるかどうか不安です。そして、私たちが後輩にとっての目標になれたかはさだかではありません。しかし、新会員一同先輩方に仲間入りさせていただくのですから先輩たちに近づけるよう、又、後輩の目標となるよう、一人一人が努力していきたいことだと思っております。

1つの目標に向かって努力を重ねて、後輩の方に道しるべとなるようにこれから卒業します。一生懸命努力をしたいと思っております。

私たちは、まだまだ社会経験が乏しく世間のことも知らず、親のすねをかじり、甘えて生活してきたわけです。至らない部分も多々あるやとは思いますが。どうか新会員の私たちに今後御指導御鞭撻のほどをよろしくお願ひいたしまして新会員のことばといたします。

「第7回 高校生ものづくりコンテスト 2007全国大会・旋盤作業部門」に参加して

昨年の十一月に、静岡県沼津市で開催された全国大会に参加しましたので紹介いたします。この大会は、全国工業校長協会が主催する技能競技会で、旋盤作業部門はじめ、全部で7部門あります。

旋盤作業部門の課題は事前に公表され、2時間の標準時間内に図面通りの加工をするもので、評価は、寸法精度・仕上精度の加減項目と、完成度・作業態度等の、減点項目で採点されます。

本校機械科3年の渡邊 琢君が、一昨年の県大会で優勝、昨夏の東北大会で2位に入賞し、全国大会へキップを手に入れることができました。全国大会では、残念ながら二〇名中十一位でしたが、多くのことを学ぶことができました。

ここまで来ると、どの選手も手際が大変良く、技能に大差はないと感じました。むしろ、結果を左右するのは、指導者が準備するバイト（鉄を削る刃物）が重要で、入賞校のバイトはすべて自作で、本校のように、市販品では到底及ばないことを痛感しました。

今後は、現状の練習をいくらか積み重ねても、これ以上の進歩はなく、是非、バイトの製作を試みたいと考えております。しかし、何分経験がなく、同窓生の方で、ご指導・ご助言いただければ幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。



課題作品

平成19年度 同窓会定期 総会報告

平成19年6月23日(土)午後5時から、郡山ビューホテルアネックスに於いて、平成19年度郡山北工業高等学校同窓会定期総会が百二十余名の参加を得て開催されました。

「開会の言葉」

古川弘同窓会副会長の言葉で同窓会定期総会を開会しました。

「会長あいさつ」

滝田孝太郎同窓会会長より、出席の方々に、同窓会に対する理解と協力の御礼がありました。昨年(2006年)12月16日(土)に開催された郡山北工業高等学校創立30周年記念式典が無事に終わり、学校関係者に感謝を述べられました。

又、今年は役員改選があるのに、皆さんで協議して頂き、新たな会長の選出をお願いしたい旨の話がありました。最後に同窓会の益々の発展を祈念して挨拶を結びました。

「校長あいさつ」

小菅富士雄校長より、同窓会定期総会に対してお祝いの言葉

を戴きました。「昨年(2006年)は創立30周年を迎えました。今年は節目を超えて30周年の歩みと、基礎となる二つの学校である郡山工業33年、郡山西工業14年の云々ゆる77年間の重みを振り返ると共に、今後の10年間は学校運営の指針を的確に探って参りたい。」と述べられました。

最後に、「同窓会の皆さんのお陰で今の北工がある。これからも宜しく願います」と話結びました。

「支部長代表あいさつ」

各支部を代表して東京支部の小沢満支部長よりご挨拶を頂きました。今回の東京支部総会で支部長になった事が報告され、自己紹介されました(昭和28年度建築科卒)。

「郡山駅に降り立ち、実はあの駅ビルは、当時の国鉄に勤務していた時代に国鉄本社から指名されて郡山駅ビルの仕事をやらせて頂いた。現在はビッグアイとエスカレーターで繋がりが、素晴らしい街になった」と述懐されました。尚、各支部からご参加を頂いた方々の紹介は、懇親会の席でご紹介を頂きました。

「議長選出・書記任命」

事務局一任となり、田母神三知夫事務局長より、議長には北工52年度機械科卒の浦山敏氏と郡工46年度建築科卒の佐久間保一氏、書記には北工元年度電気科卒の船山卓也氏が提案され承

認されました。



「議事」

平成18年度庶務報告は、田母神三知夫事務局長より総会資料に沿って行われ、会務報告、新会員報告、および職員の平成18年度転出者と平成19年度転入者に関する報告がなされた後、質疑を経て拍手をもって承認されました。

平成18年度決算報告は、阿部昇二事務局会計によって行われ、中村弘監事による会計監査報告の後、質疑を経て拍手をもって承認されました。

平成19年度事業計画案は、田母神三知夫事務局長より提案され、質疑を経て拍手をもって承認されました。平成19年度予算案は、阿部昇二事務局会計より提案され、質疑を経て拍手をもって承認されました。続いて、同窓会規約および内規の一部改定案について審議されました。役員改選については、選考委員会を開催するため選考委員を選任し、別室にて選考会を行い、その後総会に新役員案が提示され、拍手をもって承認されました。新役員は次の方々です。

新役員 (敬称略)
会長 増子 久治
副会長 古川 弘

郡42定電(新)

橋本 正喜

郡40建築(再)

伊勢野敏雄

西42機械(再)

西43電気(新)

加藤 和夫

郡26機械(再)

中村 弘

西49電気(再)

笹山 忠昭

北53機械(再)



新役員が紹介された後、新会長の増子久治氏より挨拶がありました。5期10年間の会長職を一昨年に退いた経緯を話されました。又、同窓会として学校に対する役割・協力等を熱く述べられると共に、これからは次の世代を育てる為の2年間としたいので、皆様からの協力を頂き、真の同窓会にしたいと話を結びました。

その他の事案で事務局から挙手があり、「同窓会の収入は終身会費と入学時の会費で成り立っている。少子化により現在8

クラスとなり、収入は約380万円である。昨年までの必要経費の平均は約430万円であるので50万円のマイナスである。」経費節減に努めるが、皆様からの一般寄付が重要な位置を占めるので、ご協力をお願いしたいと話がありました。

「閉会のことば」

橋本正喜同窓会副会長の言葉で同窓会定期総会を閉会しました。

「懇親会」

古川弘同窓会副会長の開会の言葉の後、滝田孝太郎同窓会会長の挨拶、来賓を代表して、小菅富士雄校長、植田英一同窓会相談役、遠藤高志PTA会長より祝辞を頂き、増子久治同窓会新会長の乾杯の発声により懇親会に入りました。

晴天の中で行われたゴルフコンペの表彰式も行われ、参加者は和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。最後に伊勢野敏雄新同窓会副会長の言葉で懇親会を閉じました。



支部だより

東京支部



東京支部長 小澤 茂

H19年1月24日(水) 定例三役会(拡大)を開催、小池支部長、八代事務局長、相川会計、阿部事務局次長が出席、定例役員会の準備、議題及び役員改選について打合せ、確認されました。(小澤欠)

H19年2月23日(金) 定例役員会を開催、出席9名(欠席10名(H18年度の活動状況報告、H17年～H18年の支部収支状況報告、H19年～H20年度活動計画、懇親・親睦行事計画、H19年本部定期総会に4名出席、H19年日立水戸総会に新支部長の出席を予定しました。

先の臨時役員会(H17・11・28小澤欠)で決定した新支部長が辞退したため、空席になっており再度協議が行われる憂慮される事態となりました。そこで、私が自薦により支部長をお受けした訳です。

H19年4月16日(月) 東海大学学友会館(霞ヶ関ビル33F)で開催された東京福島県人会役員と関東地区同窓会役員との歓談会に、小池支部長

と私(次期支部長を前提として)が出席しました。学友開館の下見を兼ね情報交換と歓談を行った。県人会側から副理事長6名のほか、高校在京同窓会役員(福島高校、福島商業高校、会津高校、双葉高校、田村高校、郡山北工業高校)は8名の出席、今後の交流について意見を交換した。

H19年5月8日(火) 臨時三役会(拡大)開催、きたる定期総会の出席状況、準備その他について打合せをおこなった(小澤欠)

H19年6月2日(土) 上野「精養軒」に於いて同窓会東京支部定期総会を開催、式次第に従い支部会務及び行事の概要、活動報告、会計報告等々の報告、次いで審議事項があり、役員改選で新支部長が承認されました。小池支部長のあとを受け2年間の限度に、東京支部長を務めさせていただくことになりました。その他の議題で第一部が終了した。

私(昭和28年建築科卒)は高齢ですが、東京支部の灯火を消さないためにも役を務めさせていただく所存です、よろしく願います。

第二部の懇親会では、大勢の来賓のご出席を頂き心温まる祝辞をいただいた。盛会のうちにお開きとなりました。愛する母校のため益々盛んな親睦の輪を広げていきたい

のです。参加者は35名(内女性1名)でした。東京支部定期総会は、隔年ですので次回H21年度となります。

H19年6月23日(土) 本部定期総会に東京支部から小澤新支部長が出席、2部の懇親会には、八代事務局長、相川会計、阿部事務局次長、を含め4名出席。増子同窓会顧問から郡山工業高校、郡山西北工業高校がS52年に統合され郡山北工業高校となり中核の工業高校となった旨の説明があった。我が母校の発展を更にながうものです。



H19年11月24日(土) 水戸支部懇親会に小澤新支部長、八代事務局長出席、本部、日立支部、水戸支部の方々と懇親会のあと、会の飛躍発展を祈願し締めました。

さて、H20年度の年初にあたり、三役会議、幹事会等、早急に開催し東京支部の行事計画等を策定したい考えであります。

日立支部



日立支部長 丸山 正一

平成二十年の新しい年を迎え同窓会会員の皆様のご健勝を、心よりお慶びを申し上げます。

同窓会の支部だよりとして日立支部の活動状況について報告させていただきます。

日立支部は現在、会員数81名(内OBの方31名)で同窓会活動を展開しております。基本的には同窓会会員同士のつながりを更に深くしていくことというのを考えて活動を展開していますが、現役の方々は、職場の中核で活躍されており、かなり多忙な日々を送られている。また一方家庭でも、子育てに奮闘されている方もおり、どうしても同窓会活動が、支部総会、本部総会及び他支部総会への参加というところが活動の中心になっております。そういう中で、活動のもう一つの柱として、減少する現役会員数を何とか増やしていくということ、新人の日立地区への就職を実現に力を入れており、古川顧問(前支部長)並びに学校関係者の方々のご努力をいただきまして、今年度日立支部に3名の新人の方々が同窓会員

として入会をしていただくことが出来ました。そのような状況下にある日立支部ですが、平成19年度の活動状況の一端を報告させていただきます。

① 日立支部総会の開催

毎年開催となっています日立支部総会は今年度、6月9日(土)に実施致しました。当日は小菅校長先生をはじめ、同窓会本部から滝田同窓会本部長、田母神事務局次長、更には東京支部から小池顧問、水戸支部から山崎支部顧問、橋本副支部長、坂本事務局の皆様方多数のご来賓をお招きし、盛大に開催いたしました。

総会第一部では、恒例により一年間の活動方針と計画に関する内容について討議いたしました。第二部の懇親会では、来賓の方々による、ご挨拶及び母校の状況報告をいただき、更には各支部の状況についても支部代表の方々にご紹介いただきました。特に今年度は、日立ブロックに2名、大みかブロックに1名の、合計3名の新人の方々を迎えたこともあり、懇親会は新人歓迎会を兼ねた内容となりました。久々に新人を迎えたということもあり、和気藹々とした明るい懇親会となり、特に新人との故郷の話や、OBの方々による様々な活動紹介など、盛会



な内容で終了することが出来ました。

② 他支部総会、本部総会への参加

6月2日(土)に開催されました東京支部総会には、古川顧問が、6月23日に開催されました本部総会には、古川顧問、吉田副支部長、白岩事務局幹事の3名が参加させていただきました。

また、11月24日(土)に開催されました水戸支部総会には丸山支部長、吉田副支部長、白岩事務局幹事の3名が参加。いづれの総会におきましても、活発な活動紹介があり、日立支部としても刺激を受ける内容で、たいへん有意義な一時を過ごさせていただき、日立支部活動の更なる活性化への思いを感じさせていただきました。

水戸支部



水戸支部長 八代 正雄

以上、平成19年度の活動状況について紹介させていただきましたが、日立支部としてからは従来から継続しています支部総会の毎年開催を基本とし、同窓会支部の場が会員同士の情報交換を密にしていることが可能な場となるような雰囲気作りを進めていきたいと思います。更には、今後とも継続的に新人を迎え、母校及び同窓会本部とのパイプを密にし、支部としての役割をなお一層意義あるものにしていきたいと思います。

のでよろしく願います。

母校と同窓会の益々のご発展とご繁栄を、そして関係する皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

平成二十年の新春を迎え明けましておめでとうございます。

昨年は変化に富んだ一年であったと感じています。政治の世界では参院選で民主党が第一党に躍り出し、初めて衆参ねじれ現象を引き起こしました。また、突然の安倍首相退陣などもありました。また、年金問題や政治とカネ問題な

どで政治の土台を大きく揺るがした年でもありました。地方では宮崎県知事に東国原知事が選出され、地鶏やマンゴーなどの宮崎ブームを巻き起こし、「どげんかせんといかん。」は流行語にもなりました。

経済面では、郵政民営化が実施され、これからはサービスの質を問われることとなります。また、不二家や赤福などの食品メーカーでは産地や消費期限の偽装が相次いで発覚し、信用が問われました。

今年の干支はねずみです。ねずみは昔から子沢山で繁栄するイメージで語られています。同窓会の皆様も夫々の職場・組織で末永くがんばっていただきたいと存じます。今年も景気の上昇と災害のない穏やかな年になりますようお祈り申し上げます。

さて、平成十九年度の水戸支部の活動について報告致します。

- 六月二日 東京支部総会出席 (山崎顧問、熊田理事長)
- 六月九日 日立支部総会出席 (山崎顧問、橋本副支部長、坂本理事)
- 六月二十三日 本部総会出席 (八代支部長、山崎顧問、熊田理事長)
- 同日のコンペに四名参加 (八代、山崎、熊田、橋本盛)
- 七月十一日 理事会開催。

(参加者八名)

●九月十六日 支部懇親会開催 (参加者十三名)

グラウンドゴルフで汗を流し、参加者同士の懇親を深めることが出来た。また、温泉や美味しい食事によって日頃の疲れを癒した。



H19.9.16 グラウンドゴルフの皆さん

●十一月二十四日 水戸支部総会及び懇親会開催 (出席者二十五名)

長谷川教頭、増子同窓会本部会長をはじめ、八名の来賓を迎えて盛大に執り行われた。



H19.11.24 水戸支部総会

平成二十年の予定は

- 四月 幹事ブロック引継ぎ及び理事会開催
- 六月 本部総会、日立支部総会出席。
- 十月 コンペ開催。

最後になりましたが母校の益々のご発展と、同窓会のご発展、ご繁栄、そして同窓会の皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

印刷会社の
ヨシダコーポレーションです。

■ISO 14001.....2003年6月25日取得 ●FSC認証紙
●大豆油インキ
■FSC (CoC) 認証.....2005年1月20日取得 ●水なし印刷

●総合印刷 ●マルチメディア ●ビジネスソリューション

株式会社
ヨシダコーポレーション

〒963-0724 福島県郡山市田村町上行合字北川田22-1
TEL.(024)942-0005(代) FAX.(024)942-2233
URL http://www.media-yoshida.co.jp

本格派中国料理

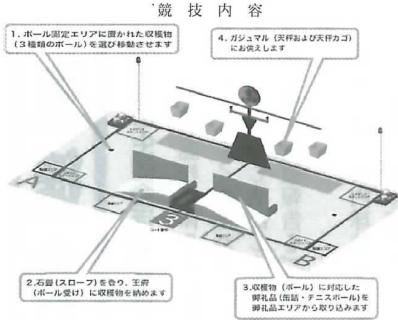
龍宮城

代表取締役社長 橋本 正喜 (昭和42年度機械科卒)

安積店/〒963-0107 郡山市安積4丁目38
TEL.(024)946-3171 FAX.(024)946-3107
西ノ内店/〒963-8022 郡山市西ノ内1-13-9
TEL.(024)939-4649 FAX.(024)939-4655
http://www.ryugujyo.co.jp/
E-mail info@ryugujyo.co.jp

●送迎バスもありますのでご相談下さい。

平成十九年度 第十五回全国高等学校ロボット競技大会



競技時間は3分間。ボールカゴ内の御礼品の合計得点で勝敗を競います。

この度は、同窓会報特集として、コンピュータ部、ロボット製作チームの活動を掲載して頂き誠にありがとうございます。紙面をお借りし、全国制覇を目標に難易度の高いテーマをクリアするために、仲間と協力し合い、より完成度の高いロボットの製作に立ち向かった生徒達の一年間の取り組みについて、紹介します。

高等学校ロボット競技大会は、全国産業教育フェアの行事として実施されています。ロボットの愛称で知られているロボット大会は、各地で様々な大会が開催されていますが、高等学校ロボット競技大会は、テーマ設定からそれに伴う実施要項づくり、大会運営全てを開催地の工業系学科の先生と生徒が一致団結して行います。したがって、開催地にとっては大きな負担になりますが、そこから

得られるものは計り知れなく大きなものだと思います。そこが他のロボットと大きく差別化している工業系学科の柱として大切にしている行かなくてはいけない大会の一つだと確信しています。それから、高等学校ロボット競技大会は、テーマ、競技内容が毎年変化するために、課題を攻略するためのアイデアと製作期間が短期間なためその技術力・能力はもちろん、製作効率が問われる競技大会であり、チームで取り組んだことの客観的評価を得るためには最適な大会であります。

今年度のテーマ及び競技内容は、開催地沖縄県に由来し、テーマは「守礼の邦のロボット収穫祭」と名付けられました。具体的な競技内容は、スタートの合図により、ロボットがボール固定エリアに置かれた収獲物（三種類のボール）を移動させながら石畳（スロープ）を登り、王府（ボール受け）に納める。その後、ボールに対応した御礼品（缶詰・テニスボール）を御礼品エリアから取り込んだ後、ガジュマル（天秤及び天秤カゴ）にお供えし、カゴ内の御礼品の合計得点で勝敗を競う競技です。

この課題を攻略すべきロボットの製作にコンピュータ部の十名が取り組み三チーム編成し大会に望みました。八月三十一日、本校の第一体育館を会場に行われた福島県大会では、県内十二校から三十六チームの参加があり、全国大会への四つの出場権を競い合いました。結果、「Brionac」（三瓶駿輔、渡部秀、岩本拓朗）が優勝（本校としては三連覇）、「Gungnir」（平智彦、早川友樹、小松尚史、深谷拓）が3位に入賞し、二チームが全国大会への出場権を得ることができました。また「Trident」（渡邊彰宏、源後明、細山紀幸）が福島県電子機械工業会長賞を受賞しました。

全国大会までは改良と操縦練習の日々が続きました。本年度の競技内容は、得点対象が缶詰で重く、ロボットへの負荷が大きいので、マシントラブルが続きました。それでも生徒達は、諦めることなくより完成度の高いロボットを製作するために改良の日々を続けました。そしていよいよ十一月二十三日〜二十四日の二日間、沖縄県宜野湾市立体育館を会場に、第十五回全国高等学校ロボット競技大会が開催されました。全国各地から一八二チームの参加がありました。一回戦からトーナメント方式で行われたため一戦、一戦を確実に勝ち上がって行かなくてはならないというプレッシャーが重くのしかかってきます。

【全国大会成績】		
チームBrionac		
一回戦 前工メカ1(前橋工業)	勝	
二回戦 AGEHA(旭川工業)	敗退	
チームGungnir		
一回戦 うずしおGUY(徳島工業)	勝	
二回戦 ULTIMAX2.0(南部工業)	勝	
三回戦 GT2(大村工業)	敗退	

「Brionac」が今大会で一番懸念していたマシントラブルで敗退してしまいました。「Gungnir」は勝ち上がり三回戦に望みました。操縦者の情報技術科三年の平智彦は、一年生から全国大会に出場し、過去二大会とも三回戦で敗退しています。今年こそは、三回戦を勝ち上がり、まずはベスト十六入りを達成したいという目標で望みました。対するは、長崎県大村工業のGT2です。競技開始の合図と同時に両者一歩も譲らず、難易度の高い競技にもかかわらず、三分間の競技時間のうち、一分三十秒を過ぎた頃には、両チームともパーフェクトを達成しようとしていました。「Gungnir」も二分前にパーフェクトを達成しましたが、対戦相手がわずかに速くパーフェクトを達成し、惜敗



郡山北工業高等学校
コンピュータ部
ロボット製作チーム
技術指導者 深澤 剛

してしまいました。全国大会入賞、全国制覇の目標を達成することはできませんでしたが、その大きな目標に挑戦していく過程で、生徒達は多くの発見をし、工業に関する知識や技術ばかりでなく、ものづくりにおける心の大切さ、難問にぶつかったとき協力して問題を解決する仲間との協調性の大切さ、ものを扱う者の人間性の大切さ、そして勝負の厳しさなど多くのことを学び、育って来ています。一つのことを完成させ、見ていただいた人に感動を与えることができたという達成感、そして郡山北工業高校の新たな伝統を築いているのだという思いが結果以上に生徒たちに自信と誇りを与えているのだと思います。高校生活を一つのことの中にさせ挑戦させ続けてくれる。そういった魅力が、ロボット競技大会にはあり、生徒達の視線は既に来年度の大坂大会に向けられていました。

生徒会だより

今年度の生徒会活動状況を報告します。

阿部 高英

今年度も高校総体や県総体、新人大会で多くの部活動が上位大会へ出場し活躍しました。詳細は大会成績報告をご覧ください。

七月には、校内球技大会がおこなわれ、今年度からリーグ戦を導入したため、各クラスともより多くの試合数をすることができ、たいへん盛り上がりました。

九月には生徒会役員改選がおこなわれ、新生徒会長には情報技術科二年の嶋貫且が就任し、以下十五名の新役員を迎え、十六名のメンバーで新たなスタートを切るようになりました。

今年度は三年に一度の公開文化祭が十月十九日から二十二日にかけておこなわれました。十月十九日にはさくら通りを開成山公園から郡山駅前広場まで御輿パレードをおこない、市民のみなさんに公開文化祭をPRしました。二十・二十一両日には各科・各クラス・各部・委員会の展示・発表などで日頃の活動成果をアピールしました。また、準備などを通して各部・委員会内部の団結力も高めること

ができたと思います。

一月には吹奏楽部の定期演奏会が開かれ、生徒会役員も準備段階から協力し、演奏会は大成功のうちに終わりました。

ロボット競技大会やものづくりコンテスト等でも全国大会などで活躍し、運動部だけでなく文化部の活動も活発におこなわれました。

今年度を振り返ると、文化部、運動部ともに活躍がめざましく、日頃の練習の成果を十二分に発揮したと思います。また来年度に向けて新たなスタートを切り、生徒会活動をより活発にしていこうと考えています。



シーリング・防水資材販売
省力化機器設計、製作

ヒッツマテリアル株式会社

代表取締役 笹山 仁
常務取締役 笹山 真宏 (西51電)
専務取締役 笹山 忠昭 (北53機)

福島県郡山市笹川二丁目1番地の4
TEL.024-947-5805 FAX.024-947-5804

平成19年度

部活動大会成績報告

H20.1.31現在

バレーボール部

- ・第53回福島県高等学校体育大会…………… 第2位
- ・第60回福島県総合体育大会…………… 少年男子…………… 第2位
- ・平成19年度福島県高等学校新人体育大会…………… 第3位

野球部

- ・第59回春季東北地区高等学校野球福島県大会…………… 出場

ラグビー部

- ・第60回福島県総合体育大会…………… 第3位
- ・第53回福島県高等学校体育大会…………… 第3位

弓道部

- ・東北高校選手権…………… 佐藤 篤…………… 出場
- ・第59回福島県春季弓道大会…………… 男子団体…………… 第2位
- ・第60回福島県総合体育大会…………… 男子団体…………… 第1位
- …………… 男子個人…………… 佐藤洋介…………… 第2位
- …………… 女子団体…………… 第3位
- ・平成19年度福島県高等学校新人体育大会…………… 男子団体…………… 第1位

陸上部

- ・第60回福島県総合体育大会…………… 110MH…………… 江口陽介…………… 第2位
- …………… 200M…………… 清水和也…………… 第2位
- ・平成19年度福島県高等学校新人体育大会…………… 110MH…………… 須田 毅…………… 第1位
- ・第53回福島県高等学校体育大会…………… 110MH…………… 須田 毅…………… 第2位

水泳部

- ・第53回福島県高等学校体育大会…………… 200M・400M自由形…………… 伊藤 駿…………… 第1位
- …………… 100M背泳ぎ・200M背泳ぎ…………… 阿部哲也…………… 第2位
- ・第15回東北高等学校新人水泳大会…………… 100M背泳ぎ…………… 阿部哲也…………… 第2位
- …………… 400M自由形…………… 伊藤 駿…………… 第2位

ソフトテニス部

- ・第53回福島県高等学校体育大会…………… 団体戦…………… 田母神宏貴 灘山真也…………… 第1位
- ・平成19年度福島県高等学校新人体育大会…………… 男子団体…………… 第2位
- ・ハイスクールジャパンカップソフトテニス2007…………… 男子団体…………… 第1位
- ・第1回ソフトテニスジュニアジャパンカップ福島大会…………… 福本和生 石川佑樹…………… 第2位

柔道部

- ・平成19年度高等学校新人体育大会県南地区大会…………… 73Kg級…………… 荒井拓也…………… 第3位
- …………… 66Kg級…………… 横田 俊…………… 第3位

ソフトボール部

- ・第53回福島県高等学校体育大会…………… 第1位
- ・第60回福島県総合体育大会…………… 少年男子…………… 第1位
- ・平成19年度東北高等学校選手権大会…………… 第1位
- ・第2回東北高等学校男子ソフトボール選抜大会…………… 第1位
- ・平成19年度福島県高等学校新人体育大会…………… 第1位

サッカー部

- ・第53回福島県高等学校体育大会県南地区大会…………… 第2位
- ・第19回県南地区高等学校1年生大会…………… 第2位

バスケットボール部

- ・第52回福島県高等学校体育大会県南地区大会…………… 第3位

スピードスケート部

- ・第53回福島県高等学校体育大会…………… 男子学校対抗…………… 第2位
- …………… 500M…………… 荒井隆典…………… 第3位
- …………… 1000M・1500M…………… 渡辺 奨…………… 第3位
- ・第60回福島県総合体育大会…………… 500M…………… 荒井隆典…………… 第2位
- …………… 1500M…………… 渡辺 奨…………… 第2位

吹奏楽部

- ・第20回全日本マーチングコンテスト福島県大会…………… 金 賞
- ・第45回福島県吹奏楽コンクール…………… 高等学校小編成…………… 銅 賞

コンピュータ部

- ・第14回福島県高等学校ロボット競技大会…………… Brionac…………… 第1位
- …………… Gungnir…………… 第3位
- ・第15回全国高等学校ロボット競技大会…………… Gungnir…………… ベスト32
- …………… Brionac…………… ベスト64

囲碁将棋部

- ・第31回全国高校総合文化祭福島県大会…………… 個人戦…………… 藤谷周平…………… 第3位
- ・平成19年度全国高校総合文化祭囲碁部門大会…………… 藤谷周平…………… 出場

その他

- ・高校生ものづくりコンテスト2007 東北大会…………… 化学分析部門…………… 佐久間鈴圭…………… 第1位
- …………… 機械系旋盤部門…………… 渡邊 琢…………… 第2位
- ・福島県高校生ものづくりコンテスト 2007…………… 化学分析部門…………… 助川直人…………… 第1位
- …………… 電位工事部門…………… 宮下直紀…………… 第1位
- ・情報処理技術者試験…………… 基本情報技術者試験…………… 小松尚史…………… 白川恵介
- …………… 初級システムアドミニストラータ…………… 佐々木優
- …………… 三級技能検定…………… 三級配管技能士…………… 梅宮将平
- …………… 高原栄太

進路状況

大社会の連携こそが若者を育てる

進路指導主事 鈴木倫子

高校卒業者がどのような生き方(進路)を選ぶのかということが、今や各個人、各家庭だけの関心事ではなく、一つの社会問題となっています。

進学関係では、理系離れが国の将来に係わるものとして取り沙汰され、就職関係では、早期離職が問題になっていきます。また、全体に読む力、書く力、コミュニケーション能力の低下などの変容も指摘されていることです。

今年度の本校の進路状況を見てみると、進学では、日本大学工学部・山形大学工学部・福島大学・会津大学を初めとして理工学系に志す生徒が圧倒的で、それ以外にも医療系など日本の社会でこれからは必要とされる分野に学ぼうとする者が多く出ています。また、就職においても、年度内には全員が希望の仕事に就ける見通しです。しかし、早期離職については、様々な理由から全くないというわけではありません。

本校が、最近の進路指導で力を入れていることは、コミュニケーション能力(聞く・話す・書く)を高めることです。最近では、どの職場どの学校でも

「ホウ・レン・ソウ」が重要であると言われています。仕事も研究もほとんど高度な内容になっています。そのような状況では、早く覚える、ミスなく成し遂げるという段階にはそう簡単には到達できるものではないです。

この先大切なことは、報告・連絡・相談がきちんとできることです。中でも、「相談」が良くできることは、新人にとつて最も大切なことです。この点をよく理解して下さる事業所では、相談しやすい環境や人的配置に配慮して下さっています。近年、事業所や上級の学校と

いろいろな連携がとれるようになりまし。連携とは、「若者を育てよう」という点で共感や相談、協力ができるといこと

です。同窓会の方々が多方面で活躍下さっているおかげで、「うちは郡山北工で持っているんですよ。」という言葉が頂戴することが増えました。感謝申し上げます。

大人たちが、いろいろな立場から若者とコミュニケーションを取ろうとする努力をすることが、若者を育てることになります。今後もさらに御指導のほどをお願い申し上げます。



進路内定状況

福島県立郡山北工業高等学校進路指導部 平成20年1月31日現在()は女子内数

Table with columns for course groups (e.g., Mechanical, Electrical, Electronics) and rows for various student categories (e.g., Total, Unemployed, etc.).

平成19年度産業別内定状況

Table showing industry distribution of graduates by sector (Agriculture, Manufacturing, etc.) and region (In-county, Out-county).

平成19年度職業別内定状況

Detailed table of career destinations by profession (e.g., Technical, Administrative, Service) and region.

進大学・訓練校・専修各種学校 (平成19年)

- List of universities and vocational schools attended by graduates, including names and counts.

4年制大学合格状況(過去3年間)

Table showing the number of graduates who passed 4-year university entrance exams from 2017 to 2019.

平成18年度 決算報告

1 収入総額 4,771,225円 2 支出総額 4,541,668円 3 差引残高 229,557円

1.収入の部

項目	予算額	決算額	増△減	備考
繰越金	715,229	715,229	0	
入会金	1,914,000	1,914,000	0	入学生319人×6,000
会費	1,890,000	1,872,000	△18,000	卒業生312人×6,000
会誌広告料	160,000	120,000	△40,000	6社
一般寄付	200,000	149,410	△50,590	
雑収入	771	586	△185	預金利息
合 計	4,880,000	4,771,225	△108,775	

2.支出の部

項目	予算額	決算額	増△減	備考
基本金	380,400	378,600	1,800	入会金・会費×0.1
会議費	500,000	458,510	41,490	三役会 幹事会 30周年関係等
事務費	120,000	36,244	83,756	事務用品等
慶弔費	80,000	64,891	15,109	弔電 会費等
通信費	1,600,000	1,582,413	17,587	会誌(57号)送料等
旅費	200,000	197,680	2,320	本部・日立
会誌編集費	700,000	698,880	1,120	会誌(57号)印刷
渉外費	200,000	186,716	13,284	関係機関との交渉諸費
卒業生諸費	250,000	194,275	55,725	卒業記念品 会長賞
事務局費	100,000	50,000	50,000	事務局会会議費
北嶺祭	0	0	0	
支部助成金	180,000	180,000	0	東京・日立・水戸
学校案内助成	50,000	0	50,000	学校案内印刷
総会費	380,000	378,784	1,216	総会補助
予備費	139,600	134,675	4,925	
合 計	4,880,000	4,541,668	338,332	

3. 差引残額¥229,557 は次年度へ繰り越します。

平成18年度 基本金報告

定期預金(～17年度)	5,776,084	大東銀行定期預金
平成18年度基本金	378,600	大東銀行定期預金
30周年記念事業取り崩し分	-2,000,000	
合 計	4,154,684	

平成18年度会計監査報告

平成19年4月4日の監査の結果、異常のないことを認めます。

会計監査 加藤 和 大
 中村 弘 弘
 笹山 忠 昭

平成18年度 会務報告

年月	行事名	内容等	場所
H18 4.10 22	平成18年度入学式 第1回 幹事会	会長、副会長 出席 平成18年度定期総会について	学校 ホテルハマツ
5.11	第1回 三役会	創立30周年記念について	学校
6.1 6.10 24	第2回 幹事会 日立支部総会 平成18年度定期総会	平成18年度定期総会について 校長、会長、副会長、事務局 計4名出席	龍宮城 日立市 郡山ビューホテル
8.8	第2回 三役会	定期総会反省会、30周年名簿作成、30周年記念事業について	龍宮城
9.15	第3回 幹事会	定期総会反省会、30周年記念事業について	ホテルハマツ
11.22	第4回 幹事会	今後の活動方針について (平成19年度定期総会、同窓会報の内容等について)	郡山ビューホテル
12.16	30周年記念式典 並びに祝賀会	体育館ステージ上の壁に校歌パネルを掲示	学校 郡山ビューホテル
H19 2.22 28	同窓会報(57号)発行 同窓会入会式	顧問、会長、副会長、監事 出席	学校
3.1 3.15 4.4	平成18年度卒業式 同窓会報(57号)発送 会計監査	会長、副会長 出席 平成18年度会計	学校 龍宮城

平成18年度までの卒業生総数

福島県立郡山工業高等学校 昭和19年4月～昭和52年3月	福島県立郡山西工業高等学校 昭和38年4月～昭和52年3月	福島県立郡山北工業高等学校 昭和52年4月～平成19年3月
全日制 機械科 2,570名 電気科 852名 電子科 741名 建築科 1,114名 工業化学科 565名 定時制 機械科 357名 電気科 222名 建設科 140名 産業科 74名	全日制 機械科 1,114名 電気科 1,059名 化学工学科 999名	全日制 機械科 3,257名 電気科 2,241名 電子科 1,195名 情報技術科 1,115名 建築科 1,189名 環境システム科 387名 化学工学科 2,224名 工業化学科 83名 定時制(平成14年3月開課程) 工業科 167名 機械科 207名 電気科 184名 建設科 32名
小 計 6,635名	小 計 3,172名	小 計 12,281名
合 計 22,088名		

職員異動報告

平成19年度人事異動にともなう転入者

No.	職名	氏名	教科	前任校
1	教頭	長谷川和弘	数学	安達東高校
2	事務長	穴戸正幸	事務部	県中振興局
3	教諭	鎌田義久	国語	清陵情報高校
4	教諭	小針幸雄	体育	白河高校
5	教諭	矢内典行	体育	光南高校
6	教諭	高橋千昭	体育	県体育協会
7	教諭	根本純夫	電子	平工業高校
8	教諭	七海清夫	化工	小高工業高校
9	教諭	佐久間俊博	電気	会津高技専
10	教諭	甲賀重寿	電気	郡山高技専
11	再任教諭	森 義彦	数学	清陵情報高校
12	実習教諭	平岩のり子	理科	橋高校
13	実習講師	加藤昌宏	機械	福島工業高校
14	実習助手	松山卓也	電気	埼玉工業高校
15	常勤講師	本間 隆	建築	
16	常勤講師	熊田 尚	建築	

平成18年度人事異動にともなう転退職者

No.	職名	氏名	教科	転出先
1	事務長	熊田次喜	事務部	退職
2	教諭	星 保男	体育	退職
3	教頭	高橋春光	理科	郡山東高校
4	教諭	富樫 実	建築	福島工業高校 教頭
5	教諭	鈴木貴人	数学	遠野高校
6	教諭	増子 格	体育	白河高校
7	教諭	清水秀昭	体育	郡山萌世高校
8	教諭	水野英輔	体育	明健中学校
9	教諭	鹿岡国俊	機械	白河実業高校
10	教諭	宗像末寿	電気	清陵情報高校
11	教諭	池上邦彦	建築	会津工業高校
12	教諭	村田光夫	化工	会津工業高校
13	実習教諭	浦山 敏	機械	埼玉工業高校
14	実習教諭	影山清子	化工	勿来工業高校
15	実習助手	小島典子	理科	船引高校
16	常勤講師	相樂博子	国語	退職(須賀川高校)
17	常勤講師	鈴木康雅	電子	退職(平工業高校)
18	時間講師	西勝文夫	数学	退職(郡山萌世高校)
19	時間講師	大島峰幸	環シ	退職

新会員報告

科	人数
機 械 科	76名
電 気 科	40名
電 子 科	40名
情 報 技 術 科	39名
建 築 科	38名
環 境 シ ス テ ム 科	40名
化 学 工 学 科	39名
合 計	312名

マイクロバス(25人・29人乗り)・ワゴン車(10人・8人乗り)・乗用車
ライトバン・トラック(軽・1t・2t)・アルミバン(2t・4t)・3t積車載車
冷凍冷蔵庫(2t・3t)の御用命は……

有限会社
郡山中央レンタカー

あいおい損害保険代理店

代表取締役 渡邊 俊彦

郡山市富久山町福原字水尾沢19番地の3
☎ (024) 924-0844・932-8828
FAX (024) 934-5334 〒963-8061
URL http://www.kcr.jp

平成19年度 同窓会役員名簿

	氏名	勤務先	卒年度科
相談役	植田 英一	前県議会議員	
顧問	渡辺 達英	(南)渡達	郡24機
〃	滝田 孝太郎		西42電
会長	増子 久治	田村通信防災工業(株)	郡24定電
副会長	古川 弘	(南)古川弘建築設計室	郡40建
〃	橋本 正喜	中国レストラン龍宮城	西42機
〃	伊勢野 敏雄	(株)うすい百貨店	西43電
監事	加藤 和夫	(社)福島県計量協会	郡26機
〃	中村 久弘	郡山演劇鑑賞会	西49電
〃	笹山 忠昭	ヒップマテリアル(株)	北53機

幹事	落合 弘		郡32機
〃	佐藤 実	佐藤実建築設計事務所	郡33建
〃	石田 秀夫	東北化学工業(株)郡山工場	郡39定機
〃	渡辺 俊彦	(南)郡山中央レンタカー	郡40定機
〃	渡辺 千尋	あさか開成高等学校	西43化工
〃	柳 沼隆夫	郡山市議会議員	西45機
〃	佐久間保一	結建築研究室	郡46建
〃	今井 久敏	福島県議会議員	西46機
〃	渡辺 正一	福島工業高等学校	郡49工化
〃	柳 沼信一	(南)県南通信サービス	西49電
〃	竹中 広之	(南)竹中電気	郡50定電
〃	佐々木 郁雄	福島工業高等学校	西50機
〃	西館 丈志	JR東日本(株)	西50機
〃	大内 菊夫	山崎製パン(株)郡山営業所	郡51定電
〃	吉田 典秀	林精器製造(株)	北52機
〃	小椋 山伸一	郡山地方広域消防組合	北53機
〃	長尾 進	福島トヨタ自動車(株)	北53機
〃	吉成 広幸	JT郡山工場	北53機
〃	斎藤 均	JT郡山工場	北53機
〃	大原 英雄	(株)東日本総建	北53化工
〃	今泉 恵一	(株)PMCテクニカ	北54電
〃	熊田 晃大		北54建
〃	影山 春男	勿来工業高等学校	北56電
〃	浦井 照夫	清陵情報高等学校	北59機
〃	國道 美行	二本松工業高等学校	北59機
〃	渋谷 健夫	(南)シブヤ	北62機
〃	今泉 健太郎	(株)香設計	北1建
〃	宗方 信恵	(株)日本デジタル研究所	北6子
〃	大内 幸恵	(南)桑原工務店	北6建
〃	千葉 祐子		北6建
〃	小林 吉行	(南)ウェルコスモ	北6建
〃	小林 剛	(有)ワタナベ塗装	北7建

運動部常任幹事

バレー部幹事	国分 常弘		北53建
サッカー部幹事	佐藤 伸宣	関彰商事(株)	北61化工
ソフトテニス部幹事	高橋 雅	ソニーエナジー・デバイス(株)	北18機
ソフトボール部幹事	柳 沼孝志	田村高校講師	北14機
企業内支部長		(勤務先あいうえお順)	
〃	三本 木覚	(株)朝日ラバー	北62機
〃	大谷 元宏	(株)アルゴ研究所	北53子
〃	橋本 孝行	石橋工業(株)	郡50機
〃	宗像 文雄	(株)エディン	郡50電
〃	平栗 俊昭	郡山ビューホテル(株)	北52工化
〃	本田 昇意	コマツ福島(株)	北54機
〃	橋本 政夫	(株)ザイン	北55機
〃	佐藤 芳晴	須賀川プレジジョン(株)	北54機
〃	鈴木 義崇	(株)セイフティプラン	北16電
〃	郡司 昌幸	田村通信防災工業(株)	北11電
〃	千葉 利行	日本化学工業(株) 福島第一工場	西42電
〃	柳 沼幸代	八光建設(株)	郡51建
〃	青木 博泰	林精器製造(株)	北52機
〃	岩崎 洋一	ハマツ観光(株)	北61建
〃	七海 孝夫	ヤマキ電気郡山事業所	北53電
〃	菅井 貞夫	(株)ヨシダコーポレーション	西46化工

クラス代表幹事

	氏名	勤務先	(年 度 順)
H18卒代表幹事	関川 大輝	日本電産コパル(株)	北18機1
〃	安齊 健太	(株)エヌケー製作所	北18環境

事務局 長	田母神三知夫	郡山北工業高等学校	郡43機
事務局 次長	柳 沼善久	郡山北工業高等学校	郡51子
〃	本田 文一	郡山北工業高等学校	北52子
会 計	阿部 昇二	郡山北工業高等学校	郡51子
事務局 員	達崎 守	郡山北工業高等学校	西40電
〃	熊田 志郎	郡山北工業高等学校	郡49工化
〃	片岡 宏記	郡山北工業高等学校	北58化工
〃	塩野 学	郡山北工業高等学校	北11環境

同窓会支部長

東京支部長	小沢 満		郡28建
日立支部長	丸山 正一	(株)日立製作所	郡48電
水戸支部長	八代 正雄		郡34電

平成19年度 一般寄付者名

ご寄付ありがとうございました

敬称略

氏名	卒年度科		氏名	卒年度科	
齋藤 重千代	旧郡校長	福島市	宮地 勝徳	郡46工化	千葉県
北原 正三	旧北校長	福島市	澁谷 茂文	郡30機	東京都
仲本 隆夫	郡40建	郡山市	菅野 弘士	郡34機	神奈川県
渡辺 正朝	郡49電	郡山市	八代 正雄	郡34電	茨城県
安田 栄	郡27機	神奈川県	高木 洋一	郡29機	埼玉県
清井 清治	旧職員	郡山市	滝田 孝太郎	西42電	郡山市
高原 三郎	郡27機	愛知県	田中 良夫	郡41機	栃木県
今泉 芳夫	郡39建	北海道	橋本 洋治	郡36子	茨城県
鹿又 長治	旧職員	田村市	関 勝彦	郡40機	千葉県
山崎 功	郡29機	茨城県	佐久間房次	旧職員	郡山市
岩越 銀三	旧職員	白河市	根本 恒美	郡40建	神奈川県
堀井 芳則	北16子	郡山市	橋本 道春	郡42機	田村市
渡辺 正春	郡48建	千葉県	松井 廣治	郡28機	神奈川県
柳 沼 喜七	郡40建	神奈川県	石井 茂	郡29機	茨城県
安部 啓吉	西46化工	三春町	村越 栄二	北52子	埼玉県
増子 久治	郡42電	郡山市	根本 源太郎	旧北校長	石川町
佐藤 宏文	北58機	須賀川市	井上 安邦	郡40建	神奈川県
大原 亨	旧郡校長	千葉県	増子 哲	郡23機	郡山市
畑 吉春	郡29機	東京都	兼田 正男	西46電	横浜市

一般寄付のお礼とお願い

第57号会報の発送に併せて一般寄付のお願いを致しましたところ、38名の皆様より寄付を頂戴致しました。誠にありがとうございました。寄付金は同窓会運営の為に有効に使わせて戴きます。

少子化現象から8クラス体制になって3年目となり、会費による収入は年々と減り続けて居ります。経費節減に努めていますが、一般寄付(広告)は予算案を組むうえで重要な位置を占めるようになりました。

会報の発送は昨年よりA4封筒に袋詰めする方法に変えました。発刊先である(株)ヨシダコーポレーションに業務を委託した関係で宅急便となりました。それに伴い発送経費は膨らみます。

世間のすう勢から寄付金は年々と減っている傾向にあります。このような状況ですが、尚一層のご協力を賜りたいと存じます。本年度も同窓会会員の皆様ならびに旧教職員の皆様にご協力を賜りたく、郵便払込取扱票を同封させていただきます。

ご寄付を戴ける方は、払込取扱票の金額、ご依頼人の欄および通信欄を記入のうえ郵便局にて払い込み下さるようお願い致します。

また郵便払込取扱票は、定期総会に参加される方が会費を納入する場合にも使用が戴けます。その際は必ず通信欄の総会参加費に○を付けて、払い込み下さるようお願い致します。

営業品目

火災報知設備・構内交換電話設備・消火設備
防火排煙設備・非常用放送設備・テレビ共聴設備
消火器・防犯設備・以上に附帯する一切の業務

田村通信防災工業株式会社

代表取締役 増子 久治 (昭和42年度電気科卒)

郡山市安積町荒井字下北井前4-1

☎ (024) 945-2882(代) FAX (024) 946-2875

E-mail: tamura-t01@isis.ocn.ne.jp



有料職業紹介事業 (07-ユ-300067)

労働者派遣事業 (般07-300087)

Webサイト制作・法人向携帯販売

株式会社 PMCテクニカ

代表取締役 今泉 恵一 (北54電)

福島県郡山市桑野2丁目31-5

TEL (024) -933-0024 FAX (024) -991-7763

http://www.pmct.co.jp

第10回 北嶺祭



オープン



パレード



機械科



電気科



電子科



情報技術科



建築科



環境システム科



化学工学科

事務局だより

今年度も皆様のご協力により会報を発行する事ができました。心より感謝申し上げます。表紙写真を久しぶりに更新しました。レイアウトでお気づきでしょうか！

校舍全景写真は、シンボルである安達太良山をバックに撮り、併せて校歌を挿入しました。

同窓生の皆様に残念な知らせをしなくてはなりません。少子化現象の波は我が北工にも及び、環境システム科が平成20年度より募集停止となりました。6学科7クラス体制となります。ご存じの様に、同窓会は入学生と卒業生との会費で運営されています。完全8クラス体制となって今年で3年目となり、経費節減に努めていた矢先でした。今回の募集停止による学級減は同窓会にも大きな打撃となりました。

昨年度からA4サイズの封筒に、そのまま会報と一般寄付の郵便払込取扱票を一緒に入れる方法にしました。昨年度までの一般寄付を募る説明は不十分でしたので、会報表紙の下部に趣意書を記載しました。皆様の心温まるご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

旧職員の方には、同窓生と一緒に会報を送付させて頂きました。定期総会の知らせは、会報第58号を持ちまして知らせに替えさせて頂きます。又、同封しました一般寄付に於いてもご協力を宜しくお願い致します。

ゴルフコンペのご案内

- 平成20年度も定期総会当日にゴルフコンペを開催いたします。
- 多数の参加をお待ちしております。参加をご希望される方はコンペ幹事まで御連絡ください。
- 日 時：平成20年6月21日(土)
- 場 所：宇津峰カントリークラブ
- 定 員：40名
- 申 込：コンペ幹事
- ①橋本正喜(西42機械)
中国レストラン龍宮城
電話 024(946)3171
- ②笹山忠昭(北53機械)
ヒツマテリアル(株)
電話 024(947)5805 FAX 024(947)5804
アドレス:hits-ts@forestocn.ne.jp

DO AMENITY
ビル総合管理

株式会社 東北セイウ

代表取締役 森田 徹 [昭和38年 機械科卒]

本社/福島県郡山市堤三丁目186番地
TEL024-952-8355 FAX024-952-8377
E-mail:t-seiwa@topaz.plala.or.jp

ビル総合管理	冷暖房機器保守管理・工事
建築物設備管理保全業務	空調機器保守管理・工事
消防防災設備保守管理・工事	省エネルギー工事
特殊建築物調査/建築設備検査	節水システム販売・工事
建築物環境衛生管理業務	防犯設備/住宅火災警報器
水道工事/管工事	造園設計

プロパンガス・灯油販売・水道工事・下水道工事
冷暖房設備・新築・リフォーム・フレンドホーム

SHIN SAN 株式会社 新産

〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字石堂4
TEL(024)922-4815 TEL(024)934-1430
ホームページ http://www.sin3.jp
E-mail shinsanfriend@y4.dion.ne.jp

国交大臣許可(特-16)第9138号 ISO9001 認証
JQA-QM3974

株式会社 オオバ工務店

代表取締役 大場 周造

本社/郡山市富田町字権現林3-4 TEL024-961-6500(代)
FAX024-961-6501

営業所/東京・福島・白河

電気設備工事・設計・施工 ISO9001:2000
本社 認証取得

株式会社 郡山電機製作所

代表取締役 成田 昌彦

ぐんでん 本社 福島県郡山市富久山町久保田字本木54
〒963-8071 TEL(024)932-2686(代表)
FAX(024)932-7743

ホームページ http://www.gunden.co.jp
山形営業所 山形県上山市永野字川原1844-3
〒999-3114 TEL(023)679-2701